

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価
細 施策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進			文化スポーツ部 文化振興課	B
施策の内容	外国籍市民と日本人市民は、同じ地域社会を構成する一員として、共生していくという意識を持つことが大切であり、異なる文化を理解し、相互に尊重し、相互に助け合うことができるよう、具体的な交流や国際理解教育を進めて共生意識を醸成していきます。				
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回の広報川越の発行に合わせ、英語版広報川越を発行しました。</li> <li>・外国籍市民会議を開催し、市長への提言を行いました。</li> <li>・外国籍市民生活ガイドブック(5カ国語)の平成24年度の発行に向け、準備をしました。</li> <li>・国際理解講座(2講座)を開講しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	英語版広報川越の発行(回)	24	24	24	
	外国籍市民会議の開催(回)	6	6	6	
評価の理由	月2回の英語版広報川越の発行、外国籍市民会議の開催などを定期的に行っており、また、外国籍市民生活ガイドブックの改訂版の発行に向け準備を行うなど、概ね順調に進まっています。				
改善の方策等	平成24年度に外国籍市民生活ガイドブックの内容を改訂するとともに、従来の4カ国語(英・中・韓・ポルトガル語)にスペイン語を加えた5カ国語で発行するなど、今後も共生意識を醸成するよう、事業を行ってまいります。				

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価		
細 施策	②留学生の支援			文化スポーツ部 文化振興課	C		
施策の内容	国際交流センター受付業務の提供、インターンシップ制度の普及、一般市民との触れ合いを通じての相互理解の場などを提供し、留学生を支援します。						
平成23年度実績	国際交流センター受付業務を留学生(東京国際大学・尚美大学)に依頼しています。また、国際交流センターにインターネットコーナーを設置し、留学生の勉学の一助としています。						
指標及び説明	【指標】 国際交流センター利用人数		【説明】 国際交流センターの開館日1日あたりの利用者数				
指標の推移	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	人	84	73	68			120
評価の理由	1日当たりの国際交流センター利用人数の実績値から、進捗があまり順調ではありません。						
改善の方策等	国際交流センターの事業について、広報紙や公式ホームページを利用するとともに、公民館などにも配布し、国際交流センターを広く利用していただけるように市民に向けて広く周知してまいります。						

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 行政の国際化			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	文化振興課	B	B	B
	② 留学生の支援	文化振興課	C		
学識経験者等 学意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流センターの利用人数が減少している。</li> <li>・留学生の支援について、国際交流センターを生かした新たな支援の方策の検討が必要である。</li> </ul>				B

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	①人材の開発と育成			文化スポーツ部 文化振興課	B
施策の内容	海外勤務経験者、帰国子女、教員、外国籍市民などさまざまな経歴を有する優れた人材を発掘し、地域の国際化の担い手として育成します。				
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語指導員養成講座を実施し、外国籍市民に日本語を教えられる人材の育成に努めました。</li> <li>川越市外国籍市民国際人材ネットを募集しました。</li> <li>日本語講座「クラッセで日本語」において、外国籍市民のための日本語教室を毎週3日(月・金・土)開催しました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	日本語指導員養成講座参加者数(人)	539(4講座)	373(3講座)	751(4講座)	
	川越市外国籍市民国際人材ネット年度末登録者数(人)	27	36	40	
評価の理由	日本語指導員養成講座の受講者数、川越市外国籍市民国際人材ネットの登録者数とも増加しており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も共生意識を醸成するよう、多文化理解についての人材を発掘、育成してまいります。				

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	②NGOなどとの協力と連携			文化スポーツ部 文化振興課	C
施策の内容	国際交流や国際協力に取り組む市民団体、外国籍市民を支援する市民団体等と連携・協力し、地域の国際化を推進していきます。				
平成23年度実績	外国籍市民を支援する市民団体等が行う、国際貢献事業に対する補助金の交付を行っております。平成23年度は平成22年度5事業のうち1事業が川越市提案型協働事業補助金の対象となりました。				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	国際貢献事業補助金(件)	5	5	3	
評価の理由	市民団体の実施する事業について補助金の交付を順調に行っておりましたが、平成23年度は川越市提案型協働事業補助金の対象となった事業を含めても1事業減少しました。				
改善の方策等	今後も本補助金制度を広く周知し、外国籍市民を支援する市民団体等と連携協力することで、地域の国際化を推進してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の国際化推進体制の整備			文化スポーツ部 文化振興課	C
施策の内容	地域の活動を効果的に展開するために、市民や市民国際交流団体が中心となる機関を設置し、社会的に認知されるまでの間、行政が支援していきます。				
平成23年度実績	国際貢献事業補助金を申請する団体や市役所を訪問した団体から、その団体の活動についての話を伺うなど、川越市内の市民の国際交流団体の把握に努めました。				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	国際貢献事業補助金利用団体数	5	5	3	
評価の理由	国際貢献事業補助金の申請の際に団体活動について話を伺っていますが、市民団体の把握については、進捗があまり順調ではありません。				
改善の方策等	川越市内で活動している団体から話を伺うほか、他市の状況についても調査・研究し、市民団体の把握に努め、市民活動による地域の国際化が推進されるよう検討してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2) 国際感覚に優れた市民の育成				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①人材の開発と育成	文化振興課	B	C	
	②NGOなどとの協力と連携	文化振興課	C		
③地域の国際化推進体制の整備	文化振興課	C			
学識経験者等	・国際交流センターの立地を生かした施策を充実していただきたい。 ・今後は、海外から受け入れる側だけでなく、海外、姉妹都市へ行く側へ支援できる体制、施策を充実していただきたい。				C

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進  
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実					担当課	担当課評価
細 施 策	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化					文化スポーツ部 文化振興課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市交流を一層発展させるため、川越市姉妹都市交流委員会との連携を図り、支援します。</li> <li>・姉妹都市交流の有効活用を通じて、市民に国際交流の場を提供し、青少年の国際理解を推進します。</li> </ul>						
平成23年度実績	セーレム市訪問中学生交流団の派遣、日独協会連合会の受入れ、日独ビジネス研修生交換プログラムを実施しました。						
指標及び説明	【指標】 姉妹都市(海外)間の交流数			【説明】 海外姉妹都市との年間交流回数			
指標の推移	単位	基準値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	件	3	5	3			14
評価の理由	東日本大震災の影響もあり、平成23年度は国外姉妹都市からの訪問が減少したこともありますが、目標値に対して進捗がよくあまり順調ではありません。						
改善の方策等	海外姉妹都市との交流については実施時期や規模、費用など難しい面はありますが、目標値の実施に向けて様々な交流方法を研究・検討してまいります。						

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実					担当課	担当課評価
細 施 策	②新しい地域、都市との交流創出					文化スポーツ部 文化振興課	C
施策の内容	身近なアジアの地域とは、政治・経済・歴史・文化などさまざまな分野で相互理解し、発展するために、より質の高い交流・協力関係を構築していきます。						
平成23年度実績	姉妹都市交流委員会において、川越市における今後の方向性について機会があるごとに研究しております。						
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23			
	川越市姉妹都市交流委員会(回)	3	2	3			
評価の理由	姉妹都市交流委員会において、アジア地域との姉妹都市交友について研究しておりますが、具体的な方向性は定まっておらず、進捗がよくあまり順調ではありません。						
改善の方策等	アジア地域との交流については、他市の状況等を調査し、今後、取り組むべきアジア地域との交流に向けて、調査・研究していきたいと考えております。						

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹都市交流の更なる充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	文化振興課	C	C	C
	②新しい地域、都市との交流創出	文化振興課	C		
学識経験者等 学意	アジア地域との姉妹都市交流は、市内の事業主もアジアの各都市に進出し、工場等を立ち上げているので、地元企業との話し合いをしながらぜひ推進してもらいたい。				C